

今年も「元気フェスタ」に参加しました。

去る5月20日(日)に、武蔵村山市民総合センター内と駐車場において、「第3回市民発！元気フェスタ」が開催され、「村山たんぽぽ」は、トッパバターでステージに出演し、たんぽぽ合唱団として4曲を元気一杯に披露させていただきました。

また、わた飴とポップコーン、飲み物販売の店も行い、利用者の皆さんが中心になって、綿飴とポップコーンづくりと販売を行っていただきました。

ステージにて合唱を披露しました。



大勢のお客さんと賑わう村山たんぽぽのお店



防災訓練を実施しました。



去る9月18日、北多摩西部消防署の職員2名の方にお越しただいて、防災訓練と防災講話を実施しました。講話では、利用者の皆さんからたくさんの質問が寄せられました。

災害時備蓄物を拡充しました！

ミネラルウォーター2L×42本／米・レトルト食品・缶詰・インスタントラーメン・お菓子／医薬品各種／照明・ラジオ・乾電池／カセットコンロ・ガスボンベ／非常用トイレ・除菌シート・保温マット／発電機等

工賃アップのために！

去る8月28日に開催された、東京都主催の「工賃アップセミナー」に参加してきました。今回のセミナーの企画運営と講師は、全国の500以上の障害者福祉事業所を見てこられた、関西のコンサルタント会社の(株)インサイトさんで、たくさんの気づきとインスピレーションを与えてもらいました。今回学んだことをしっかり実践して、村山たんぽぽの工賃アップを確実に進めていきたいと思います。

工賃向上計画のポイント

■工賃目標を定め、そのために必要な売上額を明確にする。

工賃会計	売上額	原価 材料仕入れ
		経費 消耗品費・車両関係費・地代家賃・光熱水費・減価償却費・指導員給与・その他雑費
		営業利益 工賃(利用者工賃+賞与+工賃変動積立金) ※一人当たり工賃総額×利用者人数

■事業のスクラップ&ビルドの徹底 (※家内労働の最低賃金:371円を下回る仕事はやらない)

■「支援」と「企画」を分けて考える

支援	見立て/工程の細分化/治具・支援ツール/構造化/ PDCA=個別支援計画・指導・点検改善・指導
企画	収益把握力/事業企画力/マーケティング/ PDCA=事業計画・実施・点検改善・実施

■B型事業所の目指すべき工賃目標 約36,000円(月額)

グループホームで普通に暮らせる金額 約10万円=障害者年金(2級)64,000+工賃36,000円

編集後記

今年の夏は、梅雨明けも早く、驚異的な暑さがつづき、熱中症で亡くなられた人数が例年の倍以上になったというニュースがありました。こうした猛暑の中ではありましたが、村山たんぽぽとしては、公園や個人宅の除草・剪定・清掃作業の受注や市のごみ対策課からの紹介による粗大ごみの運搬作業等の外作業が増加しました。その為、猛暑の中での外作業が多かったため、熱中症対策として、利用者と職員全員にクールタオルを配布し、塩飴、スポーツドリンクを提供し、各人の体調管理に配慮してきました。その結果、うれしいことに熱中症にかかる人もなく、利用者の皆さんが真っ黒に日焼けして、一段と遅く元気になったように感じます。(K.T.)

